

連載 地域新電力④

みなさんとともに 持続可能なまちづくりを

最終回は、地域新電力会社「かけがわ報徳パワー(株)」がもたらす掛川市の未来について説明します。市民のみなさんの協力で、持続可能なまちづくりを目指していきましょう。

◎環境政策課(☎21-1218)

市民の主体的な参加が「困った」を解決する

かけがわ報徳パワーが得た収益で手掛けるコミュニティビジネスの基本は、日常の「困った」「不便だな」を解消し、便利で魅力ある生活の土台をつくることです。近年、少子高齢化や地球温暖化などで市民生活にさまざまな問題が生じています。それらに対し、地域資源の活用や先端技術の導入など、地域の力を総動員することで解決へと導きます。(図1)



図1 市民生活の困ったの解決例

主役のみなさんと連携したまちづくりへ
市とかけがわ報徳パワーは、

市民のみなさんには、地産の電気を買ったり、新たな発電施設のオーナーになったりするなど、運営に関わる気持ちで積極的に参加していただくことで、会社は大きく育ち、「かけがわ版シユタツトベルケ」の歯車が回り続けます。

市はこれから、かけがわ報徳パワーとともに、子どもたちのために持続可能なまちづくりを目指します。一人ひとりの価値観や生活スタイルが多様化するなか、行政だけの市民サービスには限界があります。

地域に根差したコミュニティサービスによって、明るい未来ある掛川市を次世代へ引き継ぐ使命を果たしていきたいと考えます。

かけがわ報徳パワーの事業

小売電気事業

地産の再エネ発電にこだわった電力を販売することで、エネルギーの地産地消と経済循環を実現します。(一般家庭などへの低圧電力の供給は現在検討中)

電力購入事業

家庭や企業が保有する再エネ発電施設で発電された電力を買い取り、エネルギーの地産地消につなげます。(買い取り条件などは、現在検討中)

発電事業

再エネ発電設備の導入を進めます。公共施設のほか、家庭や事業所の屋根、敷地などへの設置を検討し、地域に根差した発電事業の実施を目指します。

その他

エネルギーのマネジメントやまちづくりに関する実証事業を段階的に進めます。また、省エネなどに関する取り組み(省エネ診断など)も実施します。

市民の日常生活における問題点の洗い出しなどを続けています。これからは、主役の市民や地域の事業者のみなさんにも会合などへ参加いただき、問題を解決するための新事業やまちづくりをともに進めていきたいと考えています。みなさんのご協力をお願いします。

市とかけがわ報徳パワー(株)が連携し、地産エネルギーを基にしたまちづくりが本格的に動き始めることをとてもうれしく思うとともに、将来を担う子どもたちへ魅力ある掛川市を引き継ぐ希望の光であると改めて感じています。

明るい未来への鍵を握るのは市民のみなさんです。みなさんの参加と支えが、多くの希望をかなえることにつながっていきます。市民、企業、行政が一体となり、ともに持続可能な理想のまちをつくりていきましょう。



掛川市長
松井三郎

これまでの連載
地域新電力の記事は
こちらから
確認できます。



市ホームページ